

令和7年度議会広報誌編集委員会 実績報告及び次年度への申し送りについて（案）

1. 令和7年度議会広報誌編集委員会の実績について

(1) 市議会だよりの発行について

2月1日号までは市報の発行部数に200部（永年保存用、庁内配架用、国会図書館送付用、視察対応用としてなど）5月1日号からは100部を加えた部数を発行。

No.	市報に折込み	号数	ページ	だより部数	市報部数
1	7月1日号	237	8	39,600	39,400
2	9月1日号	238	8	39,600	39,400
3	11月1日号	239	12	39,600	39,400
4	2月1日号	240	8	39,600	39,400
5	5月1日号	241	12	39,300	39,200

(2) 声の市議会だよりについて（録音・CD複製）

半田朗読会（無償ボランティア）が録音したCDを年5回（5月、7月、9月、11月、2月）、市内在住の視覚障がい者21名（令和8年3月1日現在）に郵送しました。

(3) はんだ市議会だよりの誌面に関する改善について

1. 一般質問の掲載方法について以下の見直しを行った。
 - (1) 質問者の顔写真をYouTubeから切取った画像に変更した。
 - (2) 誌面の配色をこれまで使用してきた蛍光色（黄色）から落ち着いた色に変更した。
 - (3) 誌面を読み易くするため、要旨のフォントサイズを大きくするとともに、「問」と「答」のレイアウトも変更した。
 - (4) 質問者を掲載する順番を「質問した順番」から「市民が関心のある質問内容の順番」に変更するとともに、各質問者に質問内容を示すアイコンを掲載するようにした。
2. 各ページに誌面の内容を記載したインデックスを導入した。
3. カラーユニバーサルデザインの観点から表紙のタイトル部分のデザインを変更（※5月1日号は表紙のカラー化に伴い、全面的にデザインを変更）した。
4. 誌面改善後（241号）の運用に適合するよう執筆基準と原稿用紙の執筆要領を改訂した。

2. 次年度への申し送り事項について

(1) 市議会だよりの表紙について

5月1日号は高校生との交流をテーマに表紙を作成しましたが、同号以降は、eモニターの結果（多くの市民が議員の日常や人柄がわかる投稿を求めている）を踏まえ、市民との交流をテーマに議員が地域の活動を紹介するような表紙となるよう準備を進めてください。

また、eモニターでは、表紙のカラー化について効果測定を行ってください。

(2) 一般質問の掲載方法について

一般質問の掲載方法では、誌面の改善として、eモニターの結果を参考に市民の関心が高いと思われる質問から順番に掲載するとともに、各質問者に質問内容を示すアイコンを表示するようにしました。次年度は、更なる見直しとして、現在の質問者を基準とした掲載から質問内容を基準とした掲載方法に変更するなど、「市民に必要な情報を探させる」のではなく、「議会から市民が必要とする情報を提供する」方法について検討を進めてください。

(3) 議案審査の掲載方法について

議案には、これまで事業などの要旨を補足説明として記載してきましたが、文字が多く、市民にとって読み難いものとなっています。市民が必要な情報と、そうでないものとを区別し、市民が必要とする情報についてのみ、しっかり情報提供する掲載方法等を検討してください。

(4) 誌面の構成について

誌面は縦書きの文字が基本となっており、市議会だよりの誌面全体が単調になっています。横書きや写真・挿絵を効果的に取入れるとともに、誌面の段組みを見直すことにより、市民の関心を引き、読みやすい誌面となるよう、誌面構成の大幅な変更について検討を進めてください。